

AOKI Holdings



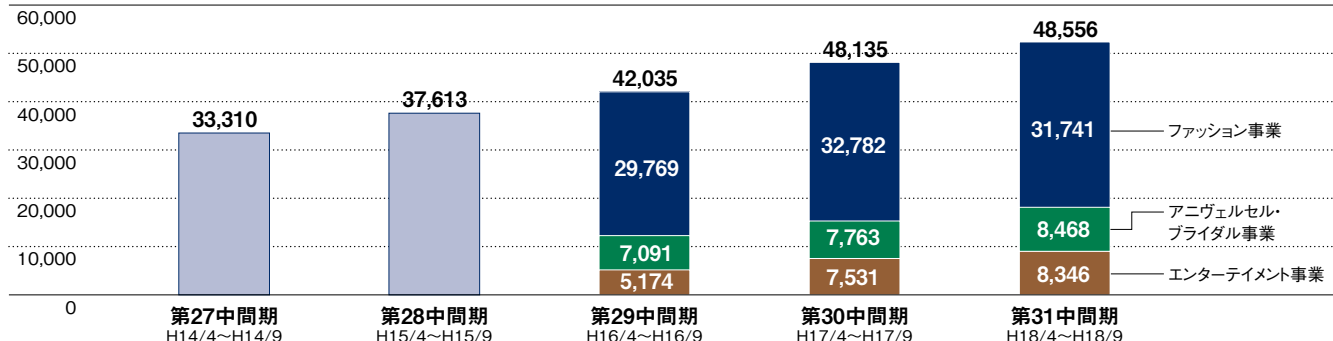
平成18年4月1日～平成18年9月30日
AOKI Report

時代のニーズを捉えた多彩な事業を基盤に、 グループ経営で質の高い安定成長へ。

1958年の創業以来、私たちAOKIグループは「社会性の追求」「公益性の追求」「公共性の追求」を経営理念に掲げ、変わりゆく時代の中で、つねにお客様のご要望や社会のニーズを見据えた事業を展開してきました。人々の価値観が多様化した現在、人生のより多くのシーンでお客様のご要望にお応えできるよう、新しい分野への事業拡大を果たしています。こうした多彩な事業経営が、収益基盤の確立につながり、グループ全体で、質の高い安定成長を実現しています。

売上高推移

(百万円)

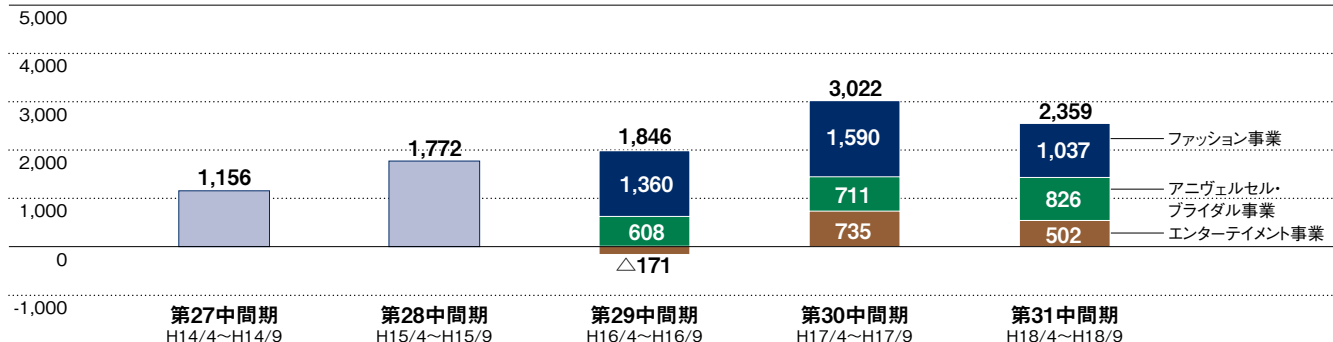


(注1)第30中間期期の合計には、その他事業の売上高が含まれております。

(注2)第29中間期期よりセグメント別に表示しております。

営業利益推移

(百万円)



(注1)第29中間期の合計には、連結上の消去、第30中間期の合計にはその他事業及び連結上の消去が含まれております。

(注2)第29中間期期よりセグメント別に表示しております。

ファッション事業

AOKI[®] メンズファッションのスペシャリティストア

ビジネススーツに加え、生活のあらゆるシーンでのスタイリングや、レディス・キッズへの提案を通じて、より多くのお客様に向けて、そのお客様に合ったベストスタイリングを提供していきます。



自分のスタイルを楽しむ世代の、ライフスタイルショップ

「ファッションを楽しみたい」というお客様の想いに応えるために、ディテールにこだわり、遊び心を利かせた個性的なスタイリングを提案しています。



アニヴェルセル・ブライダル事業

ANNIVERSAIRE
OMOTENASSHO

“記念日”をテーマとする館

トレンドの発信地、表参道にふさわしい上質な空間で、大切な日をより上質に、自分らしく演出いただくためのトータルな商品・サービスを提供しています。



WEDDING
VILLAGE
PARTIRE
GEHINKAN

ゲストハウスウエディングのパイオニア

独立型チャペルとプライベートガーデンを有するゲストハウスを備えた「ウエディングビレッジ」や、地中海のリゾート地、モナコをイメージした「パルティエーレ迎賓館」で、大切な日を感動的に演出します。



エンターテインメント事業

KARAOKE & PARTY



上質な空間と食を提供するカラオケ・パーティースペース

南仏のリゾート地をテーマにした上質な空間で、最新のカラオケと本格的な食事を楽しんでもいただく“パーティーリゾート”をコンセプトに、お客様に明日への活力を提供します。



refaxation oasis



快適な空間で極上のリラックスを提供する複合カフェ

“癒し”をテーマとした快適な空間で、インターネット、ゲーム、コミック・雑誌や、マッサージチェアなど、多彩なサービスをコンビニ感覚でご利用いただける“リラクゼーションカフェ”です。



安定成長をめざし、 事業の深耕と拡大に取り組みました。



代表取締役社長
青木 擴憲

取締役副社長
青木 寶久

当期の概況

株主の皆様には、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

当中間期におけるわが国経済は、設備投資や企業収益の改善などにより緩やかな回復基調が続いており、個人消費も概ね堅調に推移しました。当社グループにおいては、ファッション事業の安定成長を図るとともに、アニヴェルセル・ブライダル事業、エンターテインメント事業では積極的に新市場の開拓に取り組みました。その結果、売上高485億56百万円（前期比0.9%増）、経常利益28億50百万円（前期比17.4%減）、当中間純利益11億42百万円（前期比132.1%増）となりました。これにともない、当中間期の利益配当金は1株当たり12円とさせていただきます。

ファッション事業

AOKIでは、今年度を「新生AOKIのファッション元年」と位置づけ、ファッションのスペシャリティストア（専門店）として、商品・販促・売場・接客を連動させ、お客様のニーズ・ウォンツに対応できる更に魅力ある店舗づくりの実現に努めてまいりました。

商品面においては営業と連動して、20代から30代のビジネスマンをターゲットとし、新庄剛志さんを起用した「Shinjo Biz」キャンペーン、40代から50代の大人の男性をターゲットとし、役所広司さんを起用した「オトナ Biz」キャンペーンを実施し、2年目を迎えた「クールビズ」関連商品をさらに充実いたしました。またビジネスマン以外のお客様にも、生活のあらゆるシーンにおけるベストスタイリングをご提案できる商品企画・開発を継続して実施してまいりました。

営業面では、「クールビズ」とともに、「糸からつくるAOKI」キャンペーンの実施により、物作りへのこだわりを訴求するとともに、スタイリスト制度の更なる深耕を図ることで、顧客満足の向上による固定客化を推進してまいりました。また新CI導入による「新生AOKI」への進化のための改装セールを実施したことにより、客数の増加につながりました。

ORIHICA (オリヒカ) は、20代から30代のニューファミリーとカップルをメインターゲットとし、個性的なスタイリングと新しいライフスタイルを提案するショップとして、商品構成の見直し、VMD (ビジュアルマーチャンダイジング) の仕組みづくりの実施等によりプロトタイプ店舗の磨き上げを行いました。

店舗面におきましては、AOKIでは新CI導入店舗を10店舗出店する一方、移転を含め3店舗を閉鎖し、ORIHICAは、ショッピングセンター内へ6店舗を新規出店し、1店舗を閉鎖いたしました。この結果、中間期末店舗数は、それぞれ349店舗 (前期末342店舗)、及び26店舗 (前期末21店舗) となっております。

これらの結果、売上高は317億41百万円 (前年同期比3.2%減)、営業利益は10億37百万円 (前年同期比34.8%減) と減収減益となりましたが、前年同期において株式会社トリイが7ヶ月決算であったことや合併前の完全閉店御礼セールにより売上高と営業利益を大幅に伸ばしたことと、当期におけるORIHICAの新規出店費用の増加等によるものです。

アニヴェルセル・ブライダル事業

アニヴェルセル表参道は、お客様の“ハレの日”を彩るスペシャリティストアとして、表参道にふさわしい洗練された空間で、引き続き上質な商品とサービスを提供しており、ショコラ、シャンパン、フラワー、ジュエリーなど多様なラインアップを誇る1階のギフトコレクション、ハイセンスなパーティドレスやアクセサリを揃えた2階のウイメンズコレクションは、多くの女性の皆様よりご好評いただいております。

連結子会社の株式会社ラヴィスは、お客様の人生最良の記念日に“喜び”と“感動”をご提供させていただくためのサービスの向上と、今後ますます需要が高まるオリジナルウエディングへ対応する業態確立のため、更なる内部体制と営業力の強化を図り、人材教育に注力してまいりました。施設面では、平成18年9月に、初の関西エリア進出店舗としてパルティール神

戸ウエディングビレッジをオープンしたことにより、中間期末店舗数は9店舗 (前期末8店舗) となりました。これらの結果、売上高は84億68百万円 (前年同期比9.1%増)、営業利益は8億26百万円 (前年同期比16.3%増) となりました。なお、この10月には関西2店舗目のパルティール大阪迎賓館がオープンしております。

エンターテイメント事業

株式会社ヴァリックは、「お客様のくつろぎと元気のある生活をお手伝いたい」という企業理念のもと、カラオケルームと複合カフェ運営事業とのシナジー効果を最大限に発揮し、業態の進化を推し進めるとともに、拡大する事業規模を支える経営基盤の強化を図りました。

カラオケルーム運営事業は、ランドメニューの刷新とシーズンメニューの企画提供を行うと同時に、クリンリネスや、接客力向上等の内部体制を強化し、顧客満足の追求に努めました。

複合カフェ運営事業は、お客様により快適に、より便利にご利用いただくために、コンテンツの拡充とサービスの充実、メニュー開発等を行い、幅広いお客様からご支持をいただきました。また、平成18年9月、長野市の複合施設「TOiGO (トイゴ) パーキング」1階にフィットネス事業の2号店となる『快活フィットネスCLUB長野昭和通り店』をカラオケ「コート・ダジュール長野昭和通り店」に隣接させて新規開設いたしました。

店舗面に関しましては、カラオケルーム運営事業で2店舗、複合カフェ運営事業で19店舗の新規出店により市場シェアを拡大し、中間期末店舗数はそれぞれ91店舗 (前期末89店舗) 及び83店舗 (前期末64店舗) となりました。

これらの結果、売上高は83億46百万円 (前年同期比10.8%増)、営業利益は5億2百万円 (前年同期比31.6%減) と減益になりましたが、これは複合カフェ事業の新規出店数の増加に伴う初期費用の増加によるものです。

「AOKI」のさらなる進化と新たな収益基盤の確立をめざして。

ファッション事業の中核業態である「AOKI」は、「新生AOKIのファッション元年」と位置づけ、ファッションのスペシャリティストアとして更に魅力ある業態への進化をめざした取り組みを推進しています。また、そのほかの業態では新市場の開拓に取り組み、新たな収益基盤の確立をめざしています。

“ファッションのスペシャリティストア”として進化をめざす「AOKI」

商品

中高年と若者向けに、それぞれ新ブランドを提案。

世代別の顧客開拓をねらって、フランスの俳優ジャン・レノ氏の魅力を投影した「JEAN RENO」を中高年男性向けに、パリメンズコレクションのファッションデザイナー 山地正倫氏が監修した「MAJI STYLED BY MA-JI MASATOMO」と「MAJI MAJI」を若年男性向けにそれぞれ発売しました。



店舗

全国135店舗をリニューアルし、告知CMも放送。

全店舗の三分の二がリニューアル完了。イメージキャラクターの上戸彩さんらを起用した告知CMも全国でオンエアされました。来年3月までには全店のリニューアルが終了する予定です。



接客

約700人の“スタイリスト”が全国の店頭でお客様に提案。

全国の販売員に、ファッション知識のレベルに応じて与えられる社内資格の取得を奨励。店長を中心に約700人の“スタイリスト”が誕生し、「AOKI」の店頭でお客様に合ったファッションを提案しています。



新市場の開拓をめざす3事業

ORIHICA

積極的な出店を推進し、
店舗ブランドの確立へ。

ショッピングセンターへの、積極的な出店を推進。“個性的なスタイリングと新しいライフスタイルを提案する”という「ORIHICA」のコンセプトを確立させ、主要顧客層である20～30代のお客様への浸透を図ります。



快活
CLUB

同一地域への複数業態出店を加速し、
相乗効果を追求。

成長し続ける複合カフェ「快活 CLUB」は、郊外ロードサイドにおいて、カラオケ店「コート・ダジュール」が既にある地域への出店を加速。地域特性を把握しているため出店しやすく、また、人材や食材の共有化によってさらに効率的な運営が可能になります。2業態の相乗効果を追求することで、収益力の向上をめざします。



WEDDING VILLAGE PARTIRE
VILLAGE GEIHKAN

全国30店舗体制の構築をめざし、
新たに関西地域に2店舗を出店。

9月に「パルティール神戸ウエディングヴィレッジ」、10月に「パルティール大阪迎賓館」の出店により、初めて関西地域に進出。首都圏に次ぐ規模の市場開拓に努めるとともに、全国展開を見据え、安定的な継続出店を推進していきます。



パルティール大阪迎賓館



パルティール神戸ウエディングビルレッジ

中間連結貸借対照表

(単位:百万円)

	当中間連結会計年度 平成18年9月30日	前中間連結会計年度 平成17年9月30日
資産の部		
流動資産	33,377	36,488
固定資産	102,668	98,376
有形固定資産	67,012	63,308
無形固定資産	4,050	4,189
投資その他の資産	31,605	30,878
繰延資産	—	11
資産合計	136,046	134,877
負債の部		
流動負債	24,738	25,583
固定負債	22,993	24,282
負債合計	47,732	49,866
純資産の部		
株主資本	85,296	84,365
資本金	23,282	23,282
資本剰余金	22,595	22,612
利益剰余金	43,698	38,816
自己株式	△4,280	1,119
評価・換算差額等	1,299	△1,465
新株予約権	43	—
少数株主持分	1,674	—
純資産合計	88,314	84,365
負債及び純資産合計	136,046	134,877

(注)百万円未満は切り捨て。

(注)会計基準の改正に伴い、従来の「資本の部」が「純資産の部」に表示が変更されております。
前中間期の表示については、当中間期の基準に組み替えて表示しております。

中間連結損益計算書

(単位:百万円)

	当中間連結会計年度 自平成18年4月1日 至平成18年9月30日	前中間連結会計年度 自平成17年4月1日 至平成17年9月30日
売上高	48,556	48,135
売上原価	26,943	26,701
販売費及び一般管理費	19,258	18,411
営業利益	2,359	3,022
営業外収益	1,399	1,457
営業外費用	908	1,026
経常利益	2,850	3,453
特別利益	4	30
特別損失	464	2,265
税金等調整前中間純利益	2,390	1,217
法人税、住民税及び事業税	729	675
法人税等調整額	361	—
少数株主利益	156	49
中間純利益	1,142	492

(注)百万円未満は切り捨て。

中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	当中間連結会計年度 自平成18年4月1日 至平成18年9月30日	前中間連結会計年度 自平成17年4月1日 至平成17年9月30日
営業活動によるキャッシュ・フロー	△2,693	4,322
投資活動によるキャッシュ・フロー	△5,731	△6,300
財務活動によるキャッシュ・フロー	△2,357	△1,329
現金及び現金同等物に係る換算差額	△0	0
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△10,782	△3,307
現金及び現金同等物の期首残高	24,113	20,519
現金及び現金同等物の中間期末残高	13,331	17,212

(注)百万円未満は切り捨て。

中間連結株主資本等変動計算書

(単位:百万円)

	株主資本					評価・換算差額等		新株予約権	少数株主持分	純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株式資本合計	その他有価証券 評価差額金	評価・換算 差額等合計			
平成18年3月31日残高	23,282	22,610	43,200	△3,439	85,654	1,491	1,491	—	1,560	88,706
中間連結会計期間中の変動額										
剰余金の配当			△543		△543					△543
中間純利益			1,142		1,142					1,142
その他			△101	△841	△958	△192	△192	43	113	△991
中間連結会計期間中の変動額合計	—	△14	498	△841	△357	△192	△192	43	113	△391
平成18年9月30日残高流動資産	23,282	22,595	43,698	△4,280	85,296	1,299	1,299	43	1,674	88,314

(注)百万円未満は切り捨て。

Non-consolidated financial statements 単体財務諸表(要約)

中間貸借対照表

(単位:百万円)

	当中間期 平成18年9月30日	前中間期 平成17年9月30日
資産の部		
流動資産	28,225	24,409
固定資産	83,270	82,157
有形固定資産	49,048	41,993
無形固定資産	4,151	3,994
投資その他の資産	30,071	36,169
繰延資産	—	11
資産合計	111,496	106,577
負債の部		
流動負債	14,129	13,324
固定負債	9,081	11,036
負債合計	23,211	24,360
純資産の部		
株主資本	86,962	82,217
資本金	23,282	23,282
資本剰余金	26,100	25,590
利益剰余金	41,993	33,918
自己株式	△4,413	—
評価・換算差額等	1,299	890
新株予約権	22	—
純資産合計	88,285	82,217
負債純資産合計	111,496	106,577

(注)百万円未満は切り捨て。

(注)会計基準の改正に伴い、従来の「資本の部」が「純資産の部」に表示が変更されております。
前中間期の表示については、当中間期の基準に組み替えて表示しております。

中間損益計算書

(単位:百万円)

	当中間期 自平成18年4月1日 至平成18年9月30日	前中間期 自平成17年4月1日 至平成17年9月30日
売上高	32,386	29,065
売上原価	14,180	13,834
販売費及び一般管理費	17,359	14,337
営業利益	845	893
営業外収益	1,569	1,204
営業外費用	1,166	922
経常利益	1,248	1,175
特別利益	1	1
特別損失	216	3,153
税引前中間(当期)純利益又は 税引前中間純損失(△)	1,033	△1,975
法人税、住民税及び事業税	100	△930
法人税等調整額	1,023	—
中間(当期)純利益又は 中間純損失(△)	△90	△1,045

(注)百万円未満は切り捨て。

中間株主資本等変動計算書

(単位:百万円)

	資本剰余金				利益剰余金				自己 株式	株主 資本 合計	評価・換算差額等		新株 予約権	純資産 合計	
	資本金	資本 準備金	その他 資本 剰余金	資本 剰余金 合計	利益 準備金	その他利益剰余金	利益 剰余金 合計	その他 有価証券 評価差額金			評価・換算 差額等 合計				
平成18年3月31日残高	23,282	26,100	14	26,114	2,234	82	34,908	5,465	42,691	△3,572	88,515	1,492	1,492	—	90,007
中間会計期間中の変動額															
剰余金の配当								△543	△543		△543				△543
中間純損失								△90	△90		△90				△90
その他			△15	△15		△2	2,000	△2,061	△63	△841	△920	△192	△192	22	△1,089
中間会計期間中の変動額合計	—	—	△14	△14	—	△2	2,000	△2,695	△697	△841	△1,553	△192	△192	22	△1,722
平成18年9月30日残高	23,282	26,100	—	26,100	2,234	80	36,908	2,770	41,993	△4,413	86,962	1,299	1,299	22	88,285

(注)百万円未満は切り捨て。

株式の状況

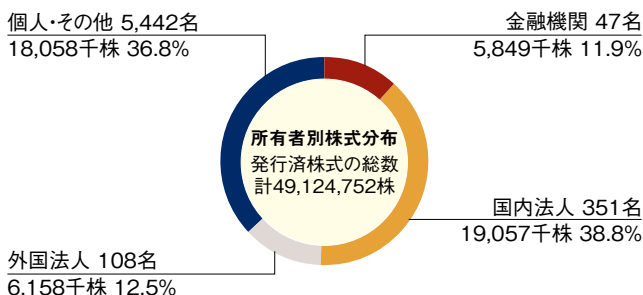
株式の状況

会社が発行する株式の総数	133,679,900株
発行済株式の総数	49,124,752株
株主数	5,948名

大株主

株主名	持ち株数 (千株)	出資比率 (%)
株式会社アニヴェルセルHOLDINGS	17,685	36.0%
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社信託口	2,353	4.7%
ステートストリートバンクアンドトラストカンパニー-505025	2,267	4.6%
青木 拓憲	2,129	4.3%
青木 寶久	1,669	3.4%
日本マスタートラスト信託銀行株式会社信託口	1,626	3.3%
青木 柁允	1,605	3.2%
青木 彰宏	1,604	3.2%
ステートストリートバンクアンドトラストカンパニー-505019	793	1.6%
自社取引先持株会	701	1.4%

(注)当社は、自己株式を4,251千株保有しておりますが、上記大株主から除いております。



会社概要 (平成18年9月30日現在)

商号	株式会社AOKIホールディングス(AOKI Holdings Inc.)
事業内容	紳士服及び服飾品並びにファッション商品の企画販売 記念日を軸とした商品の販売並びにサービスの提供
会社設立	昭和51年8月21日
資本金	23,282,626,306円
従業員数	3,771名(男性1,206名、女性363名、パート2,202名)

役員 (平成18年11月1日現在)

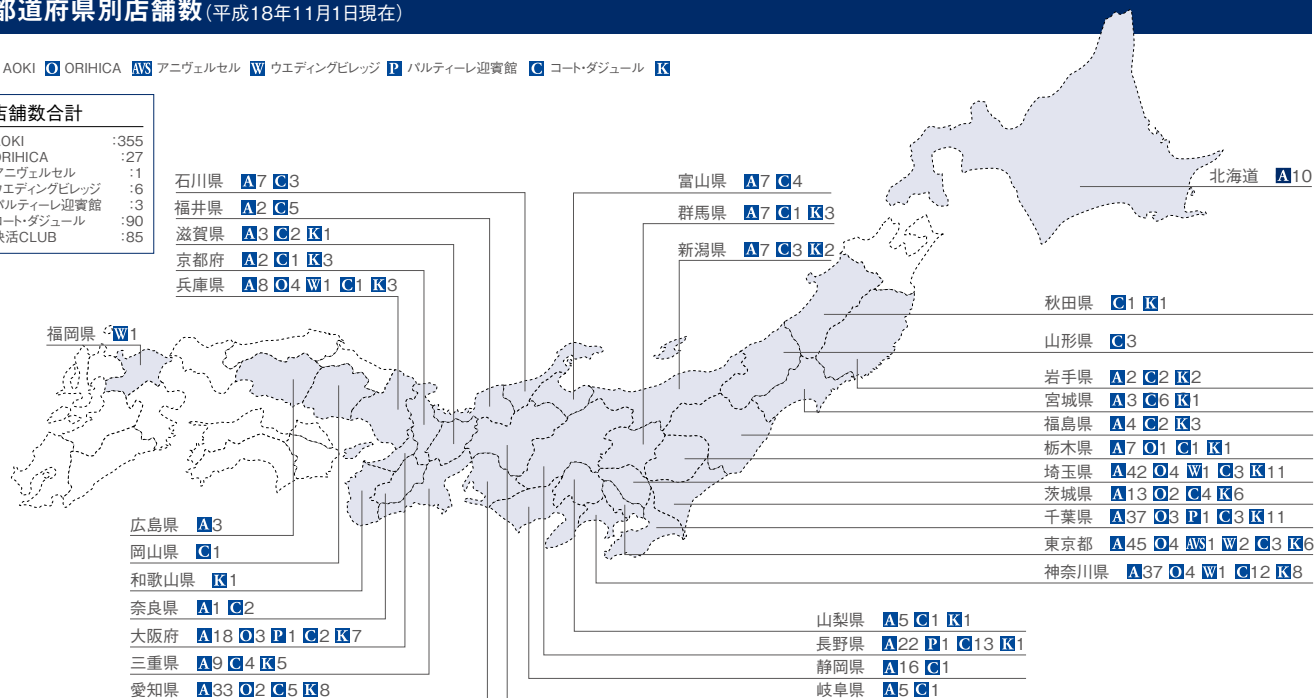
代表取締役社長	青木 拓憲	
取締役副社長	青木 寶久	
専務取締役	長谷川 八郎	グループ事業統括 店舗開発担当
専務取締役	中村 憲侍	グループ事業統括 管理担当
専務取締役	中林 佑丞	グループ事業統括 経営企画担当
専務取締役	清水 彰	AOKIカンパニー プレジデント
常務取締役	吉田 文男	AOKIカンパニー バイスプレジデント 兼 店舗環境企画部長
常務取締役	塚田 悟	グループ事業統括 人事・監査担当
常務監査役	稲垣 稔	
監査役	渡邊 一正	
監査役	金子 三千男	
常務執行役員	牧 倫匡	グループ事業開発担当
執行役員	青木 彰宏	ORIHICAカンパニー プレジデント
執行役員	柳 智基	
執行役員	野口 暉充	グループ商品担当
執行役員	刑部 秀成	総務部長
執行役員	勝家 巧	情報システム部長
執行役員	齋藤 秀次郎	グループ物流担当
執行役員	田村 春男	グループ財務担当

都道府県別店舗数 (平成18年11月1日現在)

A AOKI O ORIHIKA AVS アニヴェルセル W ウエディングビレッジ P パルティール迎賓館 C コート・ダジュール K

店舗数合計

AOKI	:355
ORIHIKA	:27
アニヴェルセル	:1
ウエディングビレッジ	:6
パルティール迎賓館	:3
コート・ダジュール	:90
快活CLUB	:85



本店所在地の変更に関するお知らせ

平成18年11月1日より、下記のとおり本店所在地を変更いたしましたので、お知らせいたします。

1. 新本店所在地

東京都港区北青山三丁目5番30号

2. 変更の理由

グループ企業の連携強化によるシナジーの向上と情報の共有化による意思決定の迅速化を図るため、本店を上記所在地に変更することいたしました。

3. 変更後の体制

変更後は、AOKIホールディングスの本社機能(社長室、経営戦略企画室、人事部、広報室)を、東京都港区に移転し、名称を「本社」といたします。「本社」では、グループ経営の強化、推進を図ってまいります。

神奈川県横浜市の現在の本社は、名称を「横浜本社」とし、AOKI、ORIHIKAの各カンパニーの本部及びAOKIホールディングスの事務機能を置き、各カンパニーとの連携とサポートを推進してまいります。

株主メモ

事業年度	4月1日～翌年3月31日
配当金受領 株主確定日	期末配当金は3月31日、中間配当金は9月30日、その他必要があるときは、あらかじめ公告いたします。
定期株主総会	毎年6月に開催いたします。
株主名簿管理人	東京都千代田区丸の内一丁目4番5号 三菱UFJ信託銀行株式会社
同事務取扱場所	東京都千代田区丸の内一丁目4番5号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
同連絡先 (お問合せ先 郵便物送付先)	東京都豊島区西池袋一丁目7番7号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 電話 0120-707-696(フリーダイヤル)
同取次所	三菱UFJ信託銀行株式会社 全国各支店 野村證券株式会社 全国本支店
上場証券取引所	東京・大阪
公告掲載新聞	日本経済新聞
公告のホーム ページのご案内	当社ホームページ (http://www.aoki-hd.co.jp/index.html)に 掲載いたしております。

主要な事業所

本 社	〒107-0061 東京都港区北青山三丁目5番30号 TEL:03-3478-2888(大代表) (注)平成18年11月1日、本社所在地を変更いたしました。
横 浜 本 社	〒224-8588 神奈川県横浜市都筑区葛が谷6番56号 TEL:045-941-1888(大代表)
AOKIカンパニー	〒224-8588 神奈川県横浜市都筑区葛が谷6番56号 TEL:045-941-3488(代表)
ORIHICAカンパニー	〒224-8588 神奈川県横浜市都筑区葛が谷6番56号 TEL:045-945-5188(代表)
アニゲルセルカンパニー	〒107-0061 東京都港区北青山三丁目5番30号 TEL:03-3478-5488(代表)

連結子会社

株式会社ラヴィス	〒135-0063 東京都江東区有明三丁目1番9号 TEL:03-3570-1120(代表)
株式会社ヴァリック	〒224-0021 神奈川県横浜市都筑区北山田三丁目 1番50号 TEL:045-590-4888(代表)

株式会社AOKIホールディングス

お問合せ先:横浜本社総務部 TEL045-941-3888
<http://www.aoki-hd.co.jp/>



この冊子は、環境への配慮のため「古紙100%の再生紙」、「植物性大豆油インク」を使用しています。また、印刷は印刷工程で有害廃液を出さない「水なし印刷」で行っています。